

【LD の評価】

○LD（学習障害）とは

- ・全般的な知的の遅れがない
- ・中枢神経系に機能障害がある
- ・書く、読むなどの基礎的能力に著しいアンバランスがある
- ・他の障害や環境の影響が直接引き起こしているのではない

○LD と学力のつまづき

- ・学習に必要な技能の本質的な問題を伴う為に状態に応じた支援が必要
- ・学力のつまづきの背景にある学業的技能の問題
→聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するが関係

○アセスメントについて

- 1) 聞き取り→保護者、担任・指導者、子ども本人
- 2) 作品分析→文字、作文、絵や作品
- 3) 觀察（社会的関係性）→教師との関係、友だちとの関係
- 4) チェックリスト→LDI-R、SKAIP 学習状況を簡便に評価するものから躊躇を把握する診断的な物まで

○検査によるアセスメント

- (1) 標準学力検査 (NRT)
- (2) K-ABC II 習得尺度
- (3) SKAIP ステップ II と III
- (4) 読みの検査、書きの検査
- (5) 視覚運動関連
- (6) 言語聴覚関連

○支援方法

- ・合理的な配慮の検討
- ・基礎的スキルの訓練
- ・特性に合わせた学習指導